

姫路の 星空

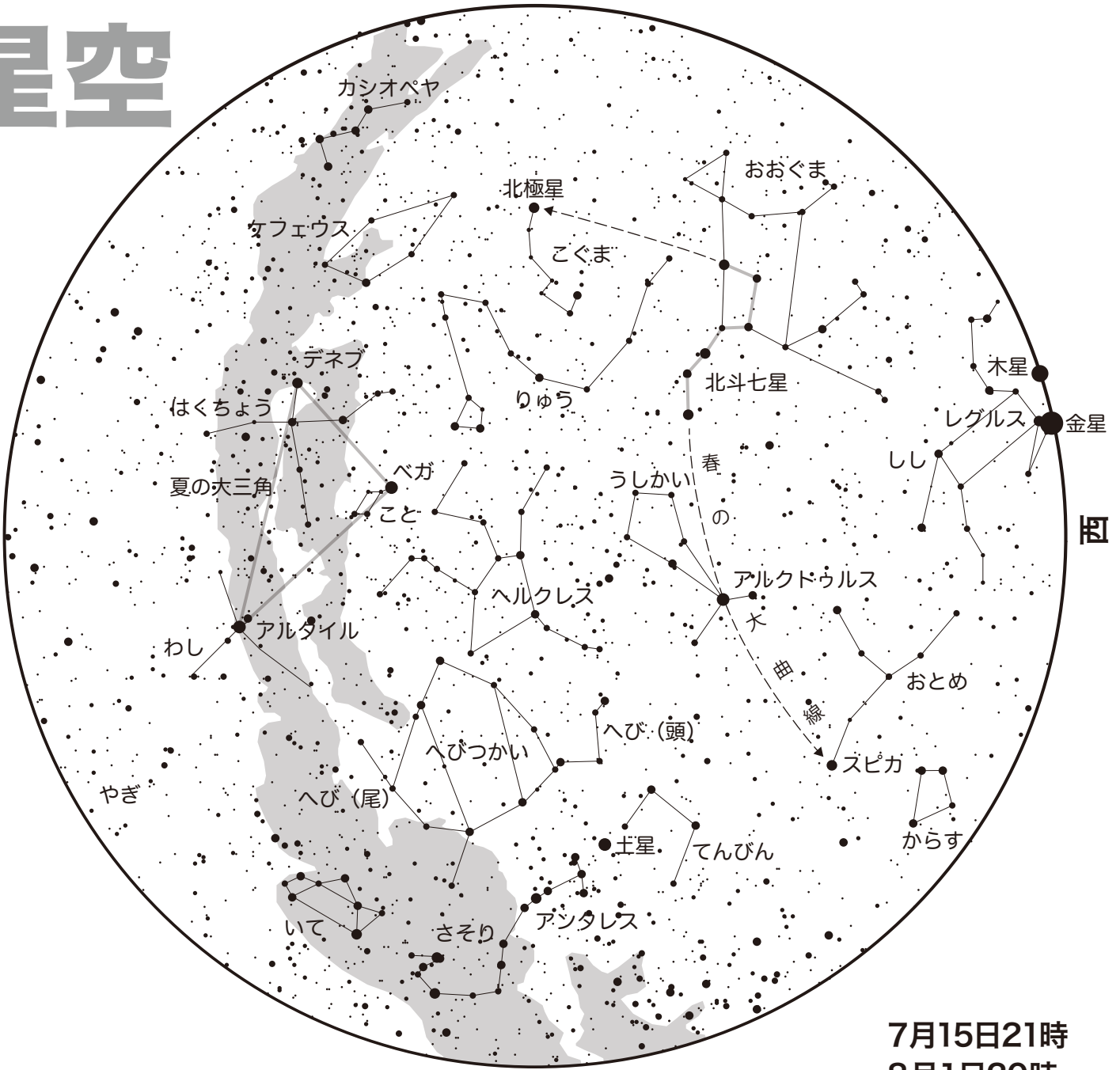


姫路科学館
Himeji City Science Museum

北

西

東



南

7月15日21時

8月1日20時

明るい惑星

日没後の西の空に金星と木星が見えています。2つとも次第に太陽に近づくので観察しにくくなります。早めに観察してください。南の空には土星が見えています。星の子館の天文台では環を観察できます。

春の星（西の空）

北斗七星が北西の空に見え、北極星を探す目印にもなります。北斗七星の柄のカーブを南に伸ばした「春の大曲線」をたどると、うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカが見つかります。

夏の星（東の空）

南にさそり座のアンタレス、東の空に夏の大きな三角が見えています。大三角を作るのは、こと座のベガ（織女星）、わし座のアルタイル（彦星）、そして、はくちょう座のデネブです。七夕の星たちは8月7日の月遅れの七夕の方が宵の空高く上るので、七夕の頃よりも見やすくなります。夏の大きな三角に重なるように天の川が見えるようになります。かすかな光なので、街明かりや月明かりの邪魔のない空が澄んだ夜に、暗闇に十分目を慣らして探してみましよう。